施策分析シート（平成２６年度）

No1

施策名	広聴機能の充実	施策No	13-02	部課名	総務企画部秘書課		
				課長名	阿部	内線	2160
関連部課名	総務企画部総務企画課・秘書課						
行政評価事業体系	分野	Ⅶ	計画推進のために				
	政策	13	区民の主体的な区政参画と連携強化				

目的

区民のニーズを把握するために、要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実を図り、区民の立場に立った区民本位の区政の実現をめざす。

指標

	幸福実感指標名	指標の推移 23年度	24年度	25年度	指標に関する質問文
①					
②					
③					
④					

	施策の成果とする指標名	指標の推移 23年度	24年度	25年度	26年度見込み	目標値(28年度)	指標に関する説明
①	「区民の声」収受件数（件）	1921	1239	1353	-	-	
②	「区政世論調査」回収率（%）	63.5	68.1	54.6	-	55.0	回収方法の変更（H24まで訪問回収→H25から郵送回収）
③	Ｅモニターの委嘱者数（人）（26年度も実数）	67	111	84	64	100	
④							
⑤							

現状と課題（指標分析）

- 区長への手紙・区長へのはがき、電話、来所、FAX、電子メールにより、区民からの意見・要望、質問などを受け付け、所管課へ対応依頼及び回答を行っている。
- 区政世論調査は、荒川区に居住する満20歳以上の区民2,500人（20年度までは1000人、21～23年度1,300人、24年度は1,500人）を対象に実施している。
- あらかわ・Ｅモニターは、インターネットを使用したモニター制度で、①モニター専用掲示板への書き込み（随時、区への意見、要望を寄せる）②アンケート調査③パブリックコメントへの協力などを行っている。
- 施設見学会は、区施設、区事業に対する区民意見を聴取するため実施している。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

- 「区民の声」と「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に今後とも効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動の充実を図る。
- Ｅモニター制度は、「区民の声」や「区政世論調査」を補完する事業として、広聴活動が行え、即時性、費用対効果の点からも優れており、モニター数の増加を目指し、より多くの区民意見を聴取する。
- オープン前の新規施設など、魅力ある施設見学会を実施して、見学会参加者の増加を目指し、多くの区民意見を聴取する。

施策の分類 26年度	27年度	分類についての説明・意見等
推進	推進	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高い。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		24年度	25年度	26年度	27年度	
あらかわタウンミーティング	01-01-10	0	0	推進	継続	これまでと異なる広聴機能であり、内容を充実した上で、継続実施していく。
パブリック・コメント制度の推進	01-01-15	0	0	継続	継続	要綱に基づき、適切に実施する。
あらかわ・Ｅモニター	01-02-07	101	74	継続	継続	他の広聴機能を補完する事業として、リアルタイムで意見の聴取ができ、また即時性、費用対効果の点からも優れている。
区政世論調査	01-02-08	1,987	1,993	推進	推進	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業である。
区民の声	01-02-09	11	8	重点的に推進	重点的に推進	「区民の声」は広聴の中核をなす最も効果的かつ重要な手法である。区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
施設見学会（庁舎を含む）	01-02-12	122	121	継続	継続	庁舎見学会は、小学生の教育の一環としても、今後とも維持して実施するべき事業である。施設見学会については、区民の参加状況を見て、実施のあり方を検討する。
合　計		2,221	2,196			